# 方向性一覧表

| No. | 施設名 | 課題 | 所管課及び方針 | | 諮問方針（案） | 意見（課題・論点） | 行政改革推進委員会意見（各委員の意見であり集約したものではない） | （参考）過去の行革答申 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | **天朝山文化交流の家** | ・施設の有効活用がされていない。 | 公園管理事務所 | 現状維持 | **現状維持** | 公園と併せた施設ＰＲにより利用促進を図る。<br>建物については第1期計画における大規模改修の必要はなく、事後修繕により現状を維持する。 | ・数値目標を定め管理すること。<br>・天朝山公園の他の施設も含めて一体的なPRを行い、利用を促進すること。<br>・天朝山公園全体の文化的価値を踏まえて、テーマ・方向性を定めること。 | H29 | 公園及び施設について多くの人に利用してもらえるよう情報発信してほしい。 |
| 2 | **神山ふれあいの家** | ・耐用年数が超過している。<br>・利用者が少なく、限られている。 | 社会福祉課 | 譲渡 | **現状維持** | 第１期計画では現状維持とするが、利用が限られている。<br>隣接するゲートボール場を含めた利活用を検討する。 | ・早急に地元自治会との協議を行うこと。<br>・期限を定め今後の活用方法(廃止・解体含む。)についての整理を行うこと。(※第1期期間内という意味ではない。それより短い期間で行う必要がある。) | 無 | |
| 3 | **どれみハウス倉庫** | ・耐用年数が超過している。 | | 現状維持 | **現状維持** | 社会福祉施設に隣接する本倉庫は、福祉事業を運営するために必要な施設であるため現状維持とする。<br>なお、劣化状況については大きな問題はない。 | ・諮問方針(案)を妥当とする。 | 無 | |
| 4 | **福祉会館** | ・老朽化の進行により劣化箇所が多い。 | | 大規模改修 | **現状維持** | 現在の利用者1万人/年を他の施設へ振り分けることは困難である。<br>第1期計画では現状維持とするが、近年利用者が減少していることから、今後の推移を考慮しながら大規模改修の検証を行う。 | ・利用者が多いにもかかわらず、照明が暗いなどの不具合が多いので、それらの改善を図ること。<br>・大規模改修が必要である。 | H30 | 類似施設との統合も検討すべきだが、避難所等の役割で有効に活用し利用者数も多いため引き続き管理する。将来改修が必要な場合は、費用の抑制に努める。 |
| 5 | **農業総合管理センター** | ・実質的に指定管理者であるＪＡの専用施設となっている。 | 農林課 | 譲渡 | **現状維持** | 第1期計画では現状維持とするが、ＪＡの広域合併後、譲渡に向け交渉を行う。<br>（農業経営基盤拡充のための補助金を活用し、旧水原町が建築。補助事業のため処分可能時期までは指定管理施設として管理する。現指定管理者である北蒲みなみ農協の広域合併(R4.4.1)後に維持管理施設の方針を確認しつつ、譲渡に向けて協議する。） | ・早急に譲渡に関してJAとの協議を進めること。<br>・補助金に伴う処分制限について整理をすること。 | 無 | |
| 6 | **笹神農民研修所** | ・老朽化が進行し、劣化箇所が多い。<br>・利用者が少なく、限られている。 | | 譲渡 | **現状維持** | 第1期計画では現状維持とするが、施設の老朽化も著しく、利用も限られている。<br>土地も含め公共施設としての利活用は困難であり、譲渡等の処分について検討する。<br>（演習場周辺の生活環境整備に係る補助金を活用し、旧笹神村が建築。補助事業のため処分可能時期までは指定管理施設として管理する。施設利用者はささかみ農協がしめなわ講習会会場としての使用。現指定管理者であるささかみ農協の広域合併(R4.4.1)後に維持管理施設の方針を確認しつつ譲渡に向けて協議を進めるが、老朽化も著しいことから処分についても検証する。） | ・地域住民の意見を聴き、支障が 無いなら処分(解体)すべきである。<br>・仮に譲渡の方向で協議するにしても、譲渡のために何らかの手を加えなければならないのなら、譲渡しないことも考えられる。 | 無 | |
| 7 | **ゆうきセンター** | ・老朽化が進んでおり、類似施設との統合など効率的な運営が必要である。 | | 現状維持 | **現状維持** | 畜産クラスター協議会を設立し、グリーンアクアセンターとの統合を含め施設の在り方について検討中であるため、第1期計画では現状維持とする。<br>（畜産クラスター協議会で、市内2カ所ある堆肥製造施設の統合について検証中。協議会の推移を注視し、第1期期間中は不具合箇所を修繕しながら管理するが、畜産クラスター協議会で統合が決定された場合はそれに従う。） | ・グリーンアクアセンターと統合する場合、ゆうきセンターの維持経費について削減をしなければならない。<br>・経費削減を前提として、保管場所としての利用は有効。<br>・ゆうきセンターとグリーンアクアセンターそれぞれの施設の役割を整理して市民への説明責任を果たせるよう準備すること。 | 無 | |
| 8 | **分田農村環境改善センター** | ・稼働率が低い。 | | 現状維持 | **現状維持** | 複数の団体が定期利用し、投票所や避難所としての役割も担っており、地域にとって重要な施設である。H30年に屋根・外壁等の改修を行っており、早急に修繕を要する箇所はなく、第1期計画では現状維持とするが、更なる利用者拡大に努める。<br>（分田地域の農村の生活環境と農業生産基盤整備を目的に建築。令和元年までは微増傾向にあったが、コロナ禍により近年は利用者が減少。当該地域以外の市民へもＨＰや広報誌を通して宣伝し、定期利用団体を含め利用者を令和8年度までに過去5年（H27～R1)の平均約3,100人を目標とする。） | ・分田地区の中心となる公共施設であり、社会的な役割が認められる。<br>・地元集会所として役割もあるため地元の負担も検討すべき。<br>・収支改善が課題であり、当該地域以外の市民へのPRを行うこと。 | 無 | |
| 9 | **城ノ内野球場** | ・耐用年数を超過し、老朽化が進行している。 | 生涯学習課 | 現状維持 | **現状維持** | 各種大会の会場として使用される主要球場である。施設については事後修繕により現状を維持する。ただし、ナイター設備は老朽化と利用者の減少が進んでいるため、廃止を検討する。なお、水原野球場への代替は可能である。<br>（近年のナイター利用状況を見るが、令和元年は平均週2日であり、水原野球場への移転が可能と考えられる。また、ナイター設備については、昭和58年建設当時で約36,000千円かかっているため建替え修繕費はそれ以上と想定できる。よってナイター設備の廃止、又は修繕により対応する。球場自体ついては第1期期間中は不具合箇所を修繕しながら管理する。） | ・安全管理をしっかりと行いながら維持していくこと。<br>・ナイター設備、バックネット支柱などは重大事故につながる恐れがあるので、早急に点検を行うこと。なお、ナイター設備の廃止を行う場合、利用者や地元住民からの理解を得るよう努めること。 | 無 | |
| 10 | **安田Ｂ＆Ｇ海洋センター** | ・耐用年数を超過している。<br>・利用者が減少している。 | | 現状維持 | **現状維持** | 市内唯一の公共プールであり、市内の園児等が活用している。設置目的のためには必要な施設であり、今後も各種教室の開催等により利用者拡大の取り組みを行い、指定管理者制度の導入についても検討を行う。<br>施設については、事後修繕での対応とし現状維持を図る。<br>（平成28年度の約5,200人を最大値として以降急激な減少傾向が続き、令和元年度は平成28年と比較し56.7％の2,975人となっている。コロナウイルス感染症対策を講じながら設置目的に沿った事業計画や教育事業及びイベントを企画するなど、運営計画を策定し令和8年度までに過去5年（H27～R1)平均4,200人の利用者を目指す。また、指定管理者制度の導入については取り組みの効果を確認しながら検証していく。） | ・幼稚園、保育園、認定こども園、小中学校でのプール教育の実態を把握したうえで、利用の促進に努めること。<br>・わかりづらい場所にあることから、PRに努めること。<br>・利用促進を図るため、安全管理に配慮しつつ指定管理者制度導入も検討すること。 | R1 | 利用者増加を目指し施設の運営計画を立てる。小中学校プールの代替施設にするなど、施設の目的とターゲットを明確にすること。目的を明確にした上で指定管理者の導入検討する。 |

# 方向性一覧表

| No. | 施設名 | 課題 | 所管課及び方針 | | 諮問方針（案） | 意見（課題・論点） | 行政改革推進委員会意見（各委員の意見であり集約したものではない） | （参考）過去の行革答申 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | **小島駐車場（便所）** | ・耐用年数を超過している。 | 商工観光課 | 現状維持 | **現状維持** | 観光客の路上駐車を防ぐための駐車場に設置する公衆トイレであり、維持する必要がある。第1期計画では事後修繕により現状を維持する。（越後七不思議の「数珠かけ桜」と「八房の梅」を観覧する観光客のための駐車場と公衆用トイレ。周辺に同様施設がないことで、廃止した場合路上駐車等が懸念されることから、観光客や周辺住民に対しては必要な施設である。よって第1期期間中は不具合箇所を修繕しながら管理する。） | ・見た目も含めてきれいにしたほうがよい。<br>・トイレ単体で考えるのではなく、市の観光施策全体の中での位置づけを明確化して維持すべき。<br>・現状維持で管理を行い、利用者の声を聴きながら改善すること。 | 無 | |
| 12 | **やまびこ通り（トイレ・東屋）** | ・施設の必要性について検討を要す。 | | 現状維持 | **現状維持** | 大勢の五頭山登山客が利用するトイレと東屋であり、維持する必要がある。建物も大規模な改修を必要としないことから、第1期計画では事後修繕により現状を維持する。（五頭連峰出湯登山口からの利用者が利用している公衆用トイレ・東屋として一体管理。五頭山の環境保全を含め、登山者にとっても必要な重要施設である。老朽化が進行し大規模改修を検討しなければならない時期にきているが、早急な実施を必要とするほどではないことから第1期期間中は不具合箇所を修繕しながら管理する。） | ・必要な修繕を行って維持管理すること。<br>・訪れる人を歓迎するために必要な整備・維持管理を行うこと。 | 無 | |
| 13 | **五頭山麓うららの森** | ・耐用年数が近づいている。 | | 現状維持 | **現状維持** | 五頭温泉郷の温泉客や国道290号の立ち寄りの場として需要は高い。第1期計画では事後修繕により現状を維持する。（国道290号線に隣接した施設であり、道の駅の役割を担う施設である。野菜即売所とあわせ多くの観光客や市内外の利用があり、情報発信の場となっている。建物は木造のため耐用年数を間もなく迎えるが、所管課の点検では施設躯体に直接影響を与える程の修繕箇所はない。令和8年度までに平成27年度当時の15万人を目標に利用者を増加させる取り組みに重点を置き、施設については第1期期間中は不具合箇所を修繕しながら管理する。） | ・目標達成に向けて、他施設との連携、位置づけの明確化、運営体制等の検討を行うこと。 | 無 | |
| 14 | **水原代官所** | ・耐用年数を超過している。 | | 現状維持 | **現状維持** | 市の重要な歴史を物語る観光施設でもあり、今後も利用者増に向けた運営努力を行う。施設については耐用年数を超過しているが、現状、大規模改修を早急に実施する必要はなく、第1期計画では事後修繕により現状を維持する。（年々利用者が減少傾向にあり、令和2年度はコロナ禍もあったが平成26年と比較して35.5%の約1,600人となった。集客を増やす試みとして瓢湖周辺施設と一体となり、利用者拡大を図ることを計画し、令和8年度までに平成26年度当時の4,500人の集客を目指す。施設については、木造のため耐用年数を超過しているが大規模改修を必要とする状況ではないことから不具合箇所を修繕しながら管理する。） | ・学校による利用、各種講座、サービスデイの設定、情報発信など運営改善に向けた様々な手法を検討すること。<br>・また、それらの実行のためにはこれまでと違った発想、若者の視点が必要であること。<br>・管理運営体制について民間活力の活用も検討すること。 | 無 | |
| 15 | **リズム・ハウス瓢湖** | ・今後の運営方針について検討が必要。 | | 現状維持 | **運営改善** | 施設は早急な大規模改修を必要しないことから、第1期計画では事後修繕により現状を維持する。なお、入浴のみ直営で運営しているが利用者が少なく、引き続き利活用方法の検討を進める。（令和3年2月末をもって、コロナの影響から指定管理者が撤退し直営施設となっている。現在は市民から入浴施設として開放してほしいと要望があり運営しているが、利用者が少なく赤字運営のため新たに整備したWi-Fi環境のPR等利用者拡大に努めながら利用料金見直しにより経営改善を図る。よって、施設については大規模改修を必要とする状況ではないため、第1期期間中は不具合箇所を修繕しながら管理する。） | ・宿泊再開に当たっては、新たにできる「道の駅あがの」や他の施設との連携を検討すること。<br>・利用を増やすため、瓢湖という立地条件（観光資源＋環境教育）を活かし、かつ五頭温泉郷と差別化した仕掛けが必要であること。 | 無 | |

# 方向性一覧表

| No. | 施設名 | 課題 | 所管課及び方針 | | 諮問方針（案） | 意見（課題・論点） | 行政改革推進委員会意見（各委員の意見であり集約したものではない） | （参考）過去の行革答申 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 | **水原テニスコート** | ・利用者が減少している。 | 生涯学習課 | 運営改善 | **運営改善** | 施設の有効活用が見込まれることから、本来の機能を損なわない範囲で、多様な利用性を持たせるなど、運営改善を行う。<br>施設維持については、事後修繕で対応する。<br>（利用者についてはコロナ禍もあるが令和2年度は平成26年度と比較して約27.0％の1,721人。テニスコートだけの用途に限らず、他用途・複合的な活用をすることで利用者を増加させる。今後阿賀野バイパスが開通し、隣接地にインターができると市外の利用者も見込まれることからＨＰなどを活用した施設のＰＲを実施。令和8年度までに過去5年（H27～R1)平均の3,900人の利用者を目標とする。） | ・阿賀野バイパス部分開通が好機となることから市外の利用者を誘客すべき。その際、テニスだけでは魅力が不足するが、他の観光資源と組合わせることで魅力が向上するので、他の部署との連携を進めること。<br>・利用促進を図るうえで、民間活力の活用を検討すべき。<br>・期限を定め、早期に取り組むこと。 | H30 | 用途が限られており受益者が限定、幅広く市民が活用できるように積極的に新たな活用方法の検討や周知の強化を図り、新規利用者の掘り起こしが必要 |
| 17 | **五頭連峰少年自然の家** | ・耐用年数を超過し、老朽化が進行している。<br>・利用者が減少している。 | | 現状維持 | **運営改善** | 少子化により年々利用者が減少している中で、青少年以外の利用者受け入れ態勢の整備、利用料金改定や減免の見直しなど、可能性を探ることで運営収支の改善を図る。<br>また、民間活用も選択肢の一つとして検討し、第1期計画では運営改善とする。なお、施設の不具合箇所は随時に改修しているが、大規模改修の早期実施について検討する。<br>（利用者についてはコロナ禍もあるが令和2年度は平成28年度と比較して約28.2％の4,327人。用途・活用目的については、青少年を対象とした社会教育施設であるが、フリーＷｉ-Ｆｉや洋式トイレを整備したことで利便性が向上したため、ワーケーションや一般の方が利用できる施設とすることについて、及び五頭山麓いこいの森との連携や、民間活用について令和4年度中に課題を整理する。建物は耐用年数を超過し、修繕する不具合箇所が増加し始めている。大規模改修費用として約5億円が見込まれるため、大規模改修の必要な時期について検証し令和8年度までに実施の有無について結論を出す。） | ・数値目標を定め、期限を設けて取り組むこととし、目標達成できなければ廃止も含めて検討すること。<br>・魅力的な条件を多く持っている施設であることから、他の施設と連携し、五頭連峰の観光・自然体験活動の拠点となるよう取り組むこと。<br>・これまでも何度も問題視されてきた施設であり、漫然と運営するのではなく真剣に改善に取り組むこと。 | R1<br>R2 | 自然環境を活用して他の目的への事業展開と、他の施設との活用も検討する。活用目的を明確にした後、ＰＲ強化と修繕計画の策定に努める。<br>民間導入検討と指標を定め検証する。 |
| 18 | **五頭山麓いこいの森** | ・耐用年数を超過している。 | 商工観光課 | 現状維持 | **運営改善** | コロナ禍のキャンプ人気もあり利用者は増加傾向にある。施設は耐用年数を経過しているが、現状は大規模改修を必要としないことから、事後修繕により現状を維持する。<br>令和4年度からは五頭薬用植物園と併せた指定管理によって効率的運営を目指し、以降も更なる改善を図る。<br>（施設については耐用年数が超過し不具合があるが、指定管理者の努力により事後修繕を実施している。近年のアウトドアブームでコロナ禍でありながら利用者は増加している。五頭薬用植物園と併せて指定管理施設として維持管理する。また、五頭連峰少年自然の家との連携について令和4年度中に課題を整理し、更なる利用者の充実と増加を図る。） | ・少年自然の家など他の施設との連携を検討すること。 | 無 | |

# 方向性一覧表

| No. | 施設名 | 課題 | 所管課及び方針 | | 諮問方針（案） | 意見（課題・論点） | 行政改革推進委員会意見（各委員の意見であり集約したものではない） | （参考）過去の行革答申 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 19 | **安田体育館** | ・耐用年数が近づいており、維持するには大規模改修と併せ耐震化工事が必要である。 | 生涯学習課 | 解体 | **廃止検討** | 施設の老朽化が著しく、令和元年実施の耐震診断にて耐震補強2億円、大規模改修2億円の見積あり、合計4億円程度の経費が生じる。<br>体育施設の効率的運営により、現利用者等は他施設への代替が可能であることから、第１期中に廃止の検討を行う。<br>（安田地区の屋内運動施設としては一番古く旧耐震基準での建物。令和元年実施の耐震診断の見積から、耐震改修・大規模改修費用として4億円超の経費が発生する。市内の主要屋内運動施設は水原総合体育館と笹神体育館がある。また、現在の利用者や行事は、阿賀野市全域の小中学校（閉校も含む）の屋内運動場への代替が可能であり、令和8年度までに廃止の検討をし結論を出す。なお、体育館の場所は埋蔵文化財包蔵地のため、利活用に制限があることを考慮し、跡地利用も併せて検討する。） | ・老朽化の状況から「廃止」もやむを得ないが、市民の納得を得られるきめ細かい廃止計画が必要。<br>・水原総合体育館、笹神体育館をはじめ市内体育施設の配置、機能分担等を明確にすること。<br>・現在の利用者の振り分けを円滑に行うため、利用者の意向を確認すること。<br>・廃止に当たっては、残る施設の機能強化等も検討すること。 | 無 | |
| 20 | **京ヶ瀬体育館** | ・耐用年数を超過しており、維持するには大規模改修と併せ耐震化工事が必要である。利用者が少ない。 | | 解体 | **廃止検討** | 旧耐震基準での建設であり、各箇所で老朽化が進んでいる。今後維持していくには大規模改修と耐震補強工事に安田体育館と同規模の経費が生じる。定期利用団体も少なく、他施設への代替が可能であることから、第１期中に廃止の検討を行う。<br>（旧耐震基準での建物であり、法定点検においても多数の破損個所の指摘がある。耐震改修・大規模改修を実施した場合、安田体育館と同等の4億円程度の経費が見込まれる。利用者が市内体育施設で一番少ない年間約5,000人、定期利用団体も6団体、本施設を廃止をした場合他の市内施設への代替は可能。令和8年度までに廃止を検討し結論を出す。） | 同上 | 無 | |
| 21 | **宝珠温泉保養センターあかまつ荘** | ・耐用年数を超過している。<br>・赤字経営が続いている。<br>・民間施設と競合している。 | 商工観光課 | 廃止 | **廃止検討** | 既に耐用年数を超過しており、建物、機械設備ともに老朽化が進んでいる。<br>大規模改修には、併設する安田農村環境改善センターを含め3億円程度の費用が発生すること、民間のノウハウを活用した指定管理者によっても健全な経営が難しい結果となっていることなどを踏まえ、第１期中に廃止の検討を行う。<br>（民間のノウハウを活用したが指定管理料年間2千万円でも健全な運営が難しい結果となっている。耐用年数を超過しており大規模改修の実施には安田農村環境改善センターを併せて約3億円の経費が見込まれる。指定管理者の募集を実施するも応募者なし。年度内に再公募する予定。） | ・現在の利用者の行き場も考慮し、規模・機能の縮小を検討すること。<br>・廃止を進める場合、市民に対して市の負担を示すなど、丁寧な説明を行うこと。 | H30<br>R2 | 経営状況改善には民間活用が必要あり、早い段階で完全民営化を進める。指定管理とする場合は達成状況をPDCAで検証し、民営化・廃止を含め次の方策基準を設定すること。 |